

ヒメノヤガラ

Hetaeria sikokiana (Makino et F. Maekawa.) Tuyama

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

本県ではきわめて稀産の植物である。現在知られているのは2産地。(現況:RO)

形態

日本産ヒメノヤガラ属のなかで、緑葉を持たない唯一の種で、腐生植物。根茎はやや太く横に這う。茎は直立し、肉質で淡紅色、高さは10~20cm、鱗片葉を互生する。花は穂状花序をなして5~10個を着ける。苞は卵形長楕円形で長さ5~8mm。唇弁は長さ6mm、内部に球状の突出部がある。

国内分布

本州、四国、九州に分布。

県内分布

外浦区および加賀中央区。

生態など

地生の多年生草本。腐生植物。開花期は7~8月。

生育環境

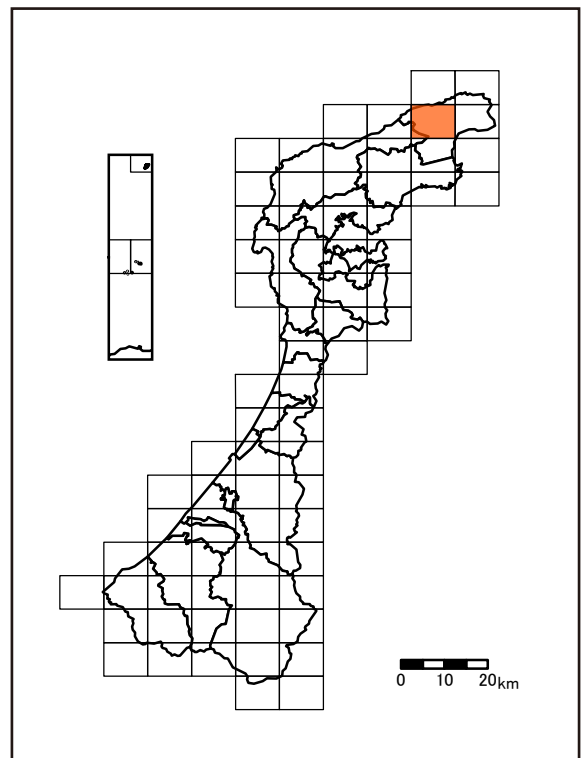
照葉樹林などの林床。

危険要因

産地局限。



濱野一郎



県内の分布